

難治性口腔内扁平苔癬と COVID-19 を契機に診断に至った Good 症候群の一例

高野慧一郎^{a,b}, 浅井 悠一郎^a, 澤井 健之^a, 宮坂 友紀^a, 千葉 弘文^b

^a 斗南病院 呼吸器内科

^b 札幌医科大学医学部 呼吸器・アレルギー内科学講座

要旨：症例は 73 歳の女性. X-3 年頃より前医で口腔内扁平苔癬と診断され，投薬加療を受けていた．症状が改善せず，また息苦しさも伴ってきたことから，当院を受診し，SARS-CoV2 PCR 検査陽性，胸部 CT で両肺のすりガラス陰影，前縦隔腫瘍を認め，血液検査で低 γ グロブリン血症を認めた．COVID-19 は γ グロブリン補充療法と対症療法で軽快した．その後胸腔鏡下胸腺胸腺腫摘出術を行い，Type AB の胸腺腫となり，低 γ グロブリン血症併発のため，Good 症候群と診断された．

キーワード：口腔内扁平苔癬 oral lichen planus (OLP)，胸腺腫 thymoma, Good 症候群 Good's syndrome, 新型コロナウイルス感染症 COVID-19

短縮タイトル：口腔扁平苔癬，COVID-19 合併 good 症候群